

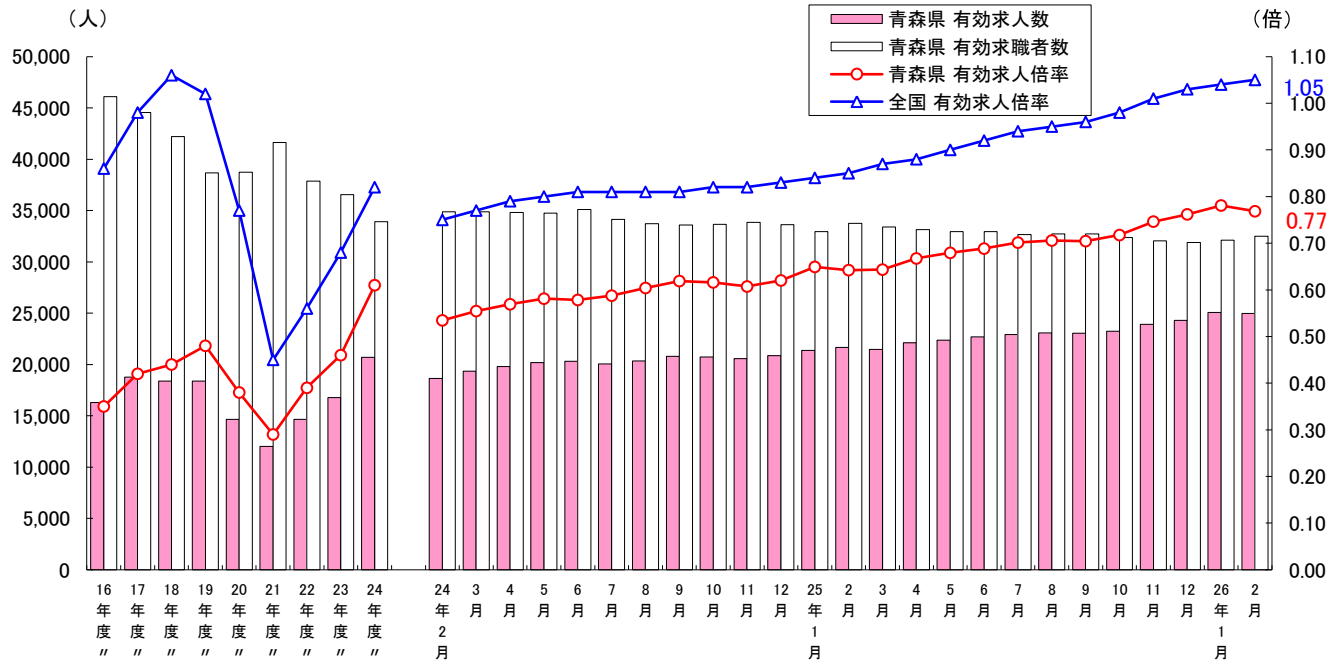
最近の雇用情勢について

(平成26年2月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

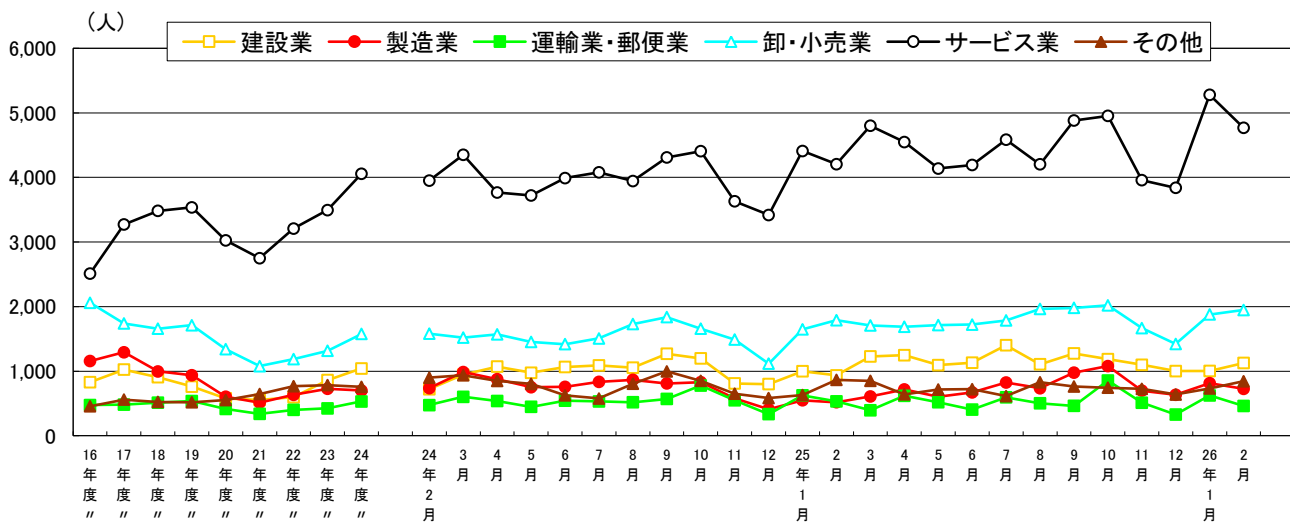
2月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.4%減少の24,962人、有効求職者数(同)は1.2%増加の32,483人で、有効求人倍率(同)は前月を0.01ポイント下回る0.77倍となった。



II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

2月の新規求人(原数値)は前年同月比11.6%(1,029人)増加、前月比4.4%(459人)減少の9,873人。

産業別に前年同月と比較すると、建設業、製造業、情報通信業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業等で増加し、電気・ガス・熱供給・水道業、運輸業、郵便業、生活関連サービス業、娯楽業等では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、金属製品製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、情報通信機械器具製造業等で増加し、印刷・同関連業、電気機械器具製造業等では減少となった。



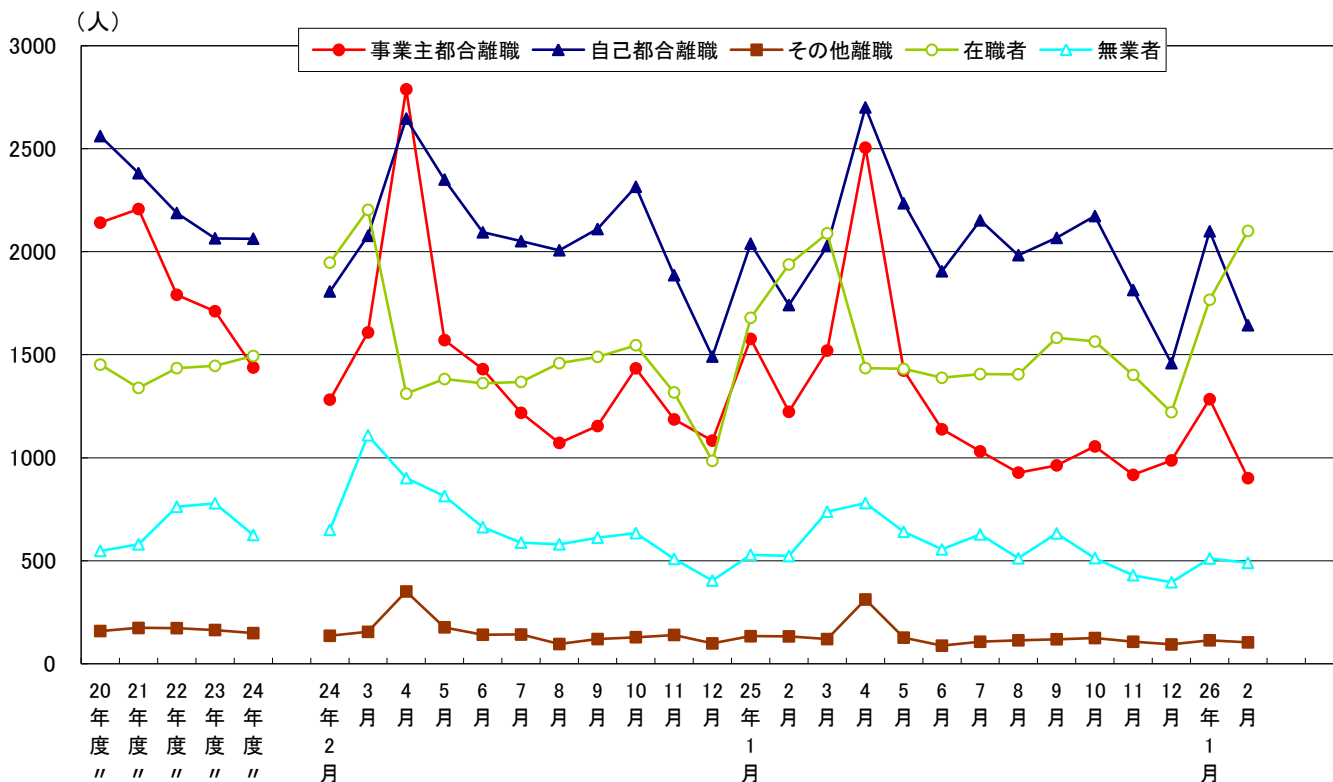
平成21年4月内容分より、平成19年11月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援事業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業」を含む。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「公務、その他」を含む。

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

2月の新規求職者数は、前年同月比5.7% (319人)減少、前月比9.3% (536人) 減少の5,239人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は8.4% (163人)増加し、離職者は14.5% (449人) の減少、無業者は 6.3% (33人) の減少となった。

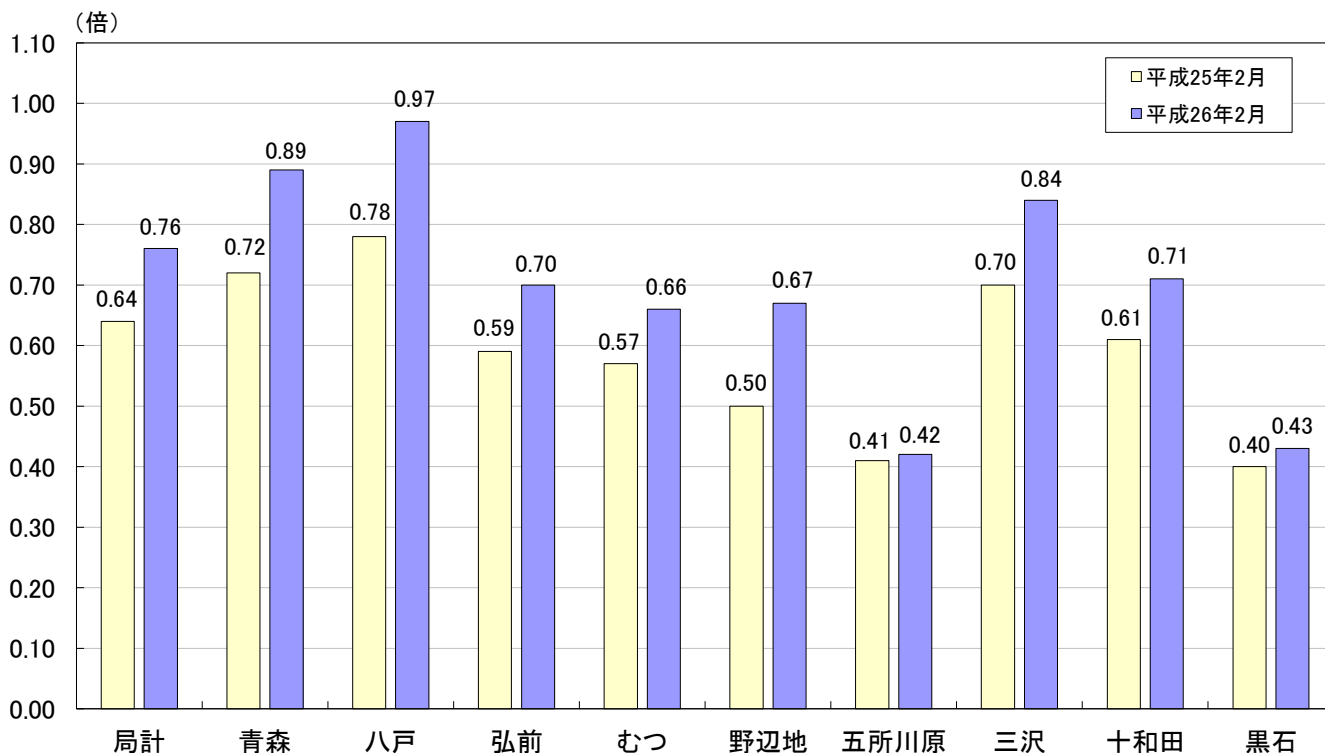
離職理由でみると、事業主都合は26.3% (322人) の減少、自己都合は5.6% (98人) の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

2月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.76倍となり、前年同月を0.12ポイント上回った。

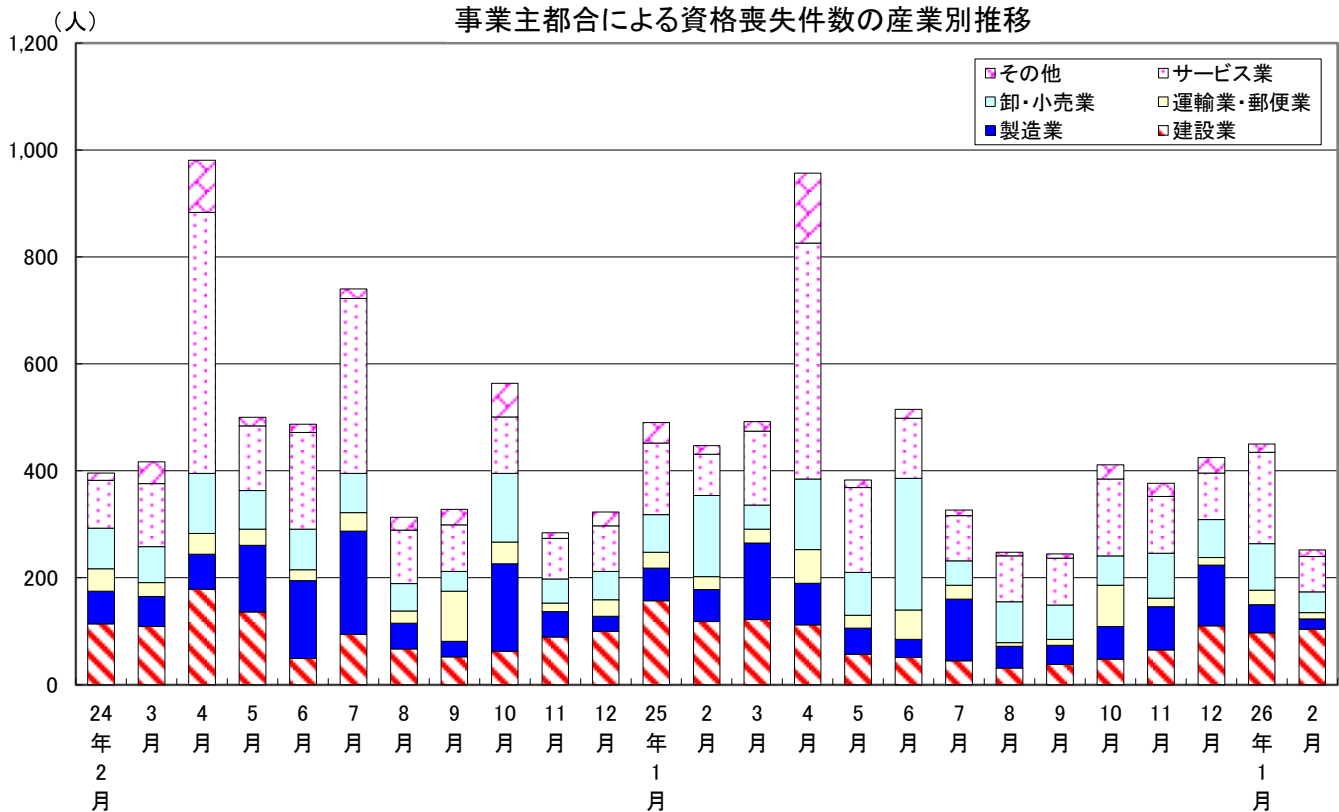
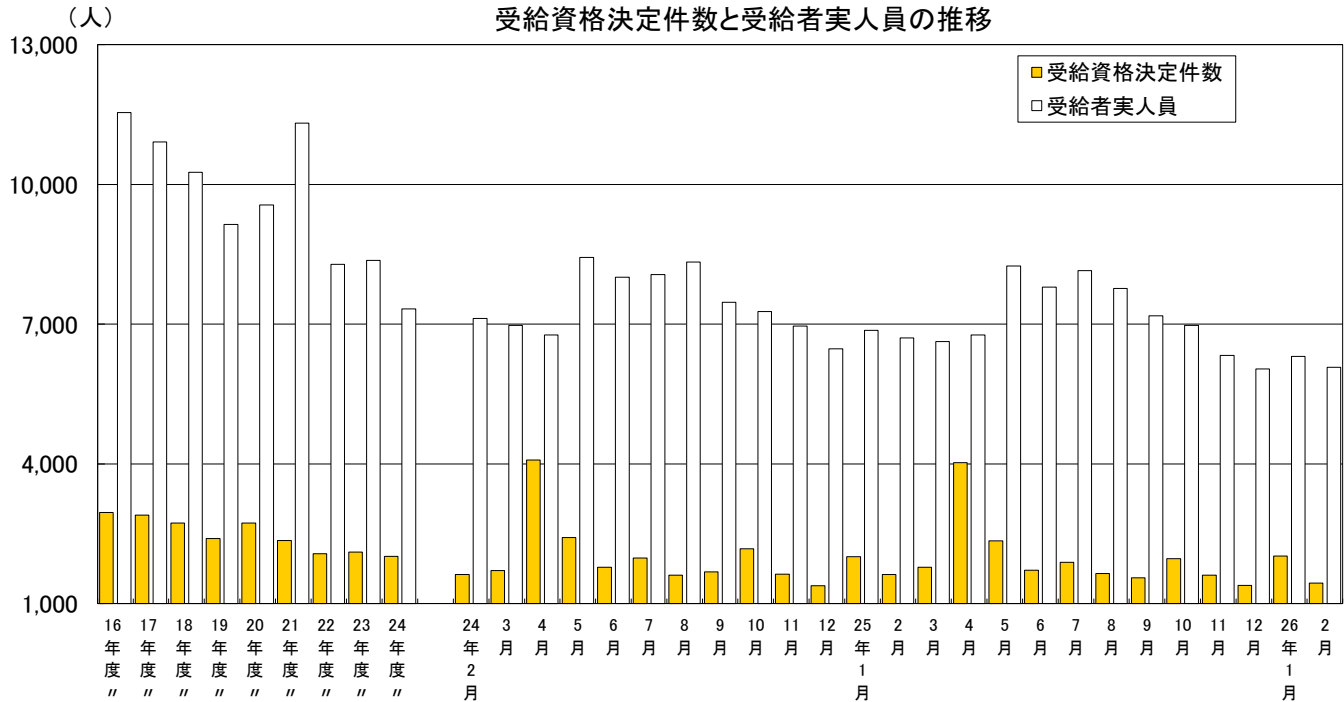
各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



V 雇用保険の状況

2月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比9.4%（630人）減少、前月比では3.6%（229人）減少の6,076人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比11.3%（184件）減少、前月比では28.8%（582件）減少の1,440件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比43.6%（195人）減少、前月比44.0%（198人）減少の252人となっている。



平成21年4月分より、平成19年11月改定の新産業分類で集計。
『サービス業』には、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「教育、学習支援業」、「医療・福祉」、「複合サービス事業」サービス業を含む。